

推薦書の作成について

1 表彰の対象 要綱第4条（1）該当者 【様式2】

①社会福祉法第2条に規定される第一種社会福祉事業または第二種社会福祉事業を行う民間社会福祉団体または施設（以下、「民間福祉団体等」という）に、現に勤務している職員または役員であること。

②基準日において、民間福祉団体等における常勤の勤務歴が通算して12年以上であること。

③基準日において、年齢が40歳以上であること。

以上①～③の条件全てを満たし、民間福祉団体等において功績顕著と認められる個人。

※1 ②、③において、基準日は令和6年8月31日とします。

※2 仙台市外に勤務されている方の場合、仙台市内を勤務地とする勤務歴が通算して4年以上であれば表彰の対象とします。

表彰から除く者

以下①～⑤に該当している場合は表彰対象外となります。

①藍綬・黄綬褒章の受章者

②健康・福祉功労分野における市政功労者として市長表彰を受けたもの

③全国社会福祉大会において、全国社会福祉協議会会長から表彰を受けたもの

④全国民生委員児童委員連合会長から民生委員・児童委員功労者表彰を受けたもの

⑤宮城県社会福祉大会において、知事から褒状または宮城県社会福祉協議会会長から表彰を受けたもの

2 推薦書作成の留意事項

①推薦書は様式2のとおりとし、必ず本年度版を使用してください。

②推薦書の記入欄が不足した場合は様式を修正したり様式欄外を使用したりせず、別紙を添付してください。

③提出部数は同一人につき1部です。

3 記入上のポイント

①氏名・ふりがなは、表彰状の名入れや読み上げの参考にしますので、正確にご記入ください。特に、異体字や外字を含むお名前は、字体を判別できるようにご記入ください。

②勤続年数は業績の在任（職）年月の合計と一致するようにご記入ください。

③業績は民間福祉団体等における常勤としての勤務歴のみをご記入ください。

④表彰推薦に値する事項は、60字～80字程度を目安に端的にご記入ください。

裏面もご覧ください

4 勤続年数算出時の留意点

勤続年数を数える際は月初めから月末までを1か月と数えてください。

(例) 1月1日～1月31日

2月1日～2月28日

4月1日～4月30日

いずれも1か月として数えます。

また、下表の通り産前産後休業、育児休業、介護休業、そのほか就業規則で認められた休暇等は、勤続年数に含めて差し支えありません。

休職・休暇等の区分	勤続年数に含めることの可否
私的事由による休職	不可
産前産後休業	可
育児休業	可
介護休業	可
そのほか就業規則で認められた休暇等	可